

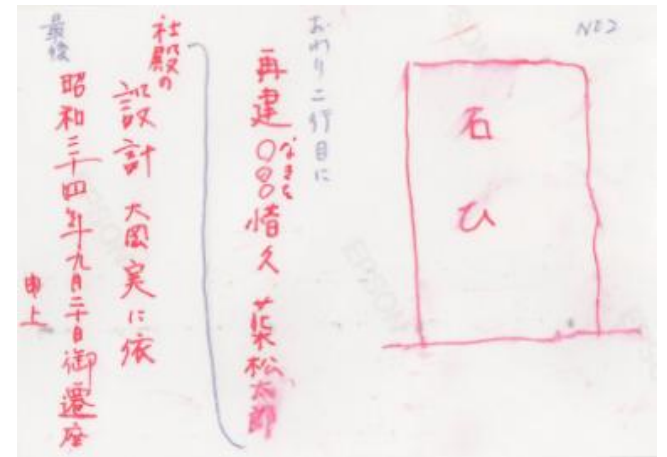
# 石浜神社 見学記録

「作品目録」に「石浜神社/稲荷社/東京都荒川区/昭和33.01～33.12/松浦弘二(意匠設計共)/構造設計・施工 入江工務店/RC造」とあるのだが、建物の写真等残っておらず(下記の石碑の写真三枚のみ有り)不思議に思っていたので現地を訪ねてみると、以下のことが判明したので報告する。

松浦弘二が撮影して保存していた写真



左の写真の裏に記されたメモ



上記の写真にある石碑は現在の石浜神社境内に所在した。

大岡實建築研究所で手掛けた建物は、大正15年に石浜神社に併合された「真先稻荷神社」であり、両神社共現在の位置よりも隅田川寄りにあったとのこと。20年程前に護岸工事(高速道路建設)のため、現在の位置に移動したのだが、石浜神社の本殿(木造/伊東忠太設計)は曳家してきたが、RCの「真崎稻荷神社」は解体した模様。上記の写真はカラーであり、後年その事を聞き現地(今の石浜神社)を訪れたときに撮影したと考えられる。また、現在の石浜神社境内にある真先稻荷神社は下記の通りである。

## 真崎稻荷神社 まっさきいなりじんじゃ



### 真崎稻荷神社

ご祭神は豊受姫神です。

天文年間(■)に石浜城城主となった千葉之介守胤が、ここに一族一党の隆昌を祈って宮柱を築き、先祖伝来の武運守護の貴い宝珠を奉納安置して以来、真崎かける武功という意味に因み真崎稻荷として世に知られました。

延享年間(1744~47)には一橋家の祈願所となり、以後の江戸時代後半、安永年間(1772~80)を中心に隅田川名勝八景の地としてこよなく信仰を集めました。

大正15年に石浜神社に併合されました。

石浜神社『石濱神社のしおり』より

石浜神社ホームページより





下の写真は解体されて無くなってしまった真先稻荷神社にあった由緒書きである。設計者に大岡實(実)と書かれている(左側二列目)。また入江工務店の代表者の名前も見える。(左端)この由緒書きは現在の石浜神社境内にある真先稻荷神社の側面外壁に取り付けてあった。



↑ 大岡実の文字が見える

宮司さんのご好意で見せていただいた私物のアルバムの中に、一枚だけ残っていた大岡實建築研究所が手掛けた真先稲荷神社の写真



※ こちらの写真はその後、齊藤一平氏から提供していただいたものです。



(意匠設計も松浦弘二が手掛けている)





真先縮荷神社設計圖

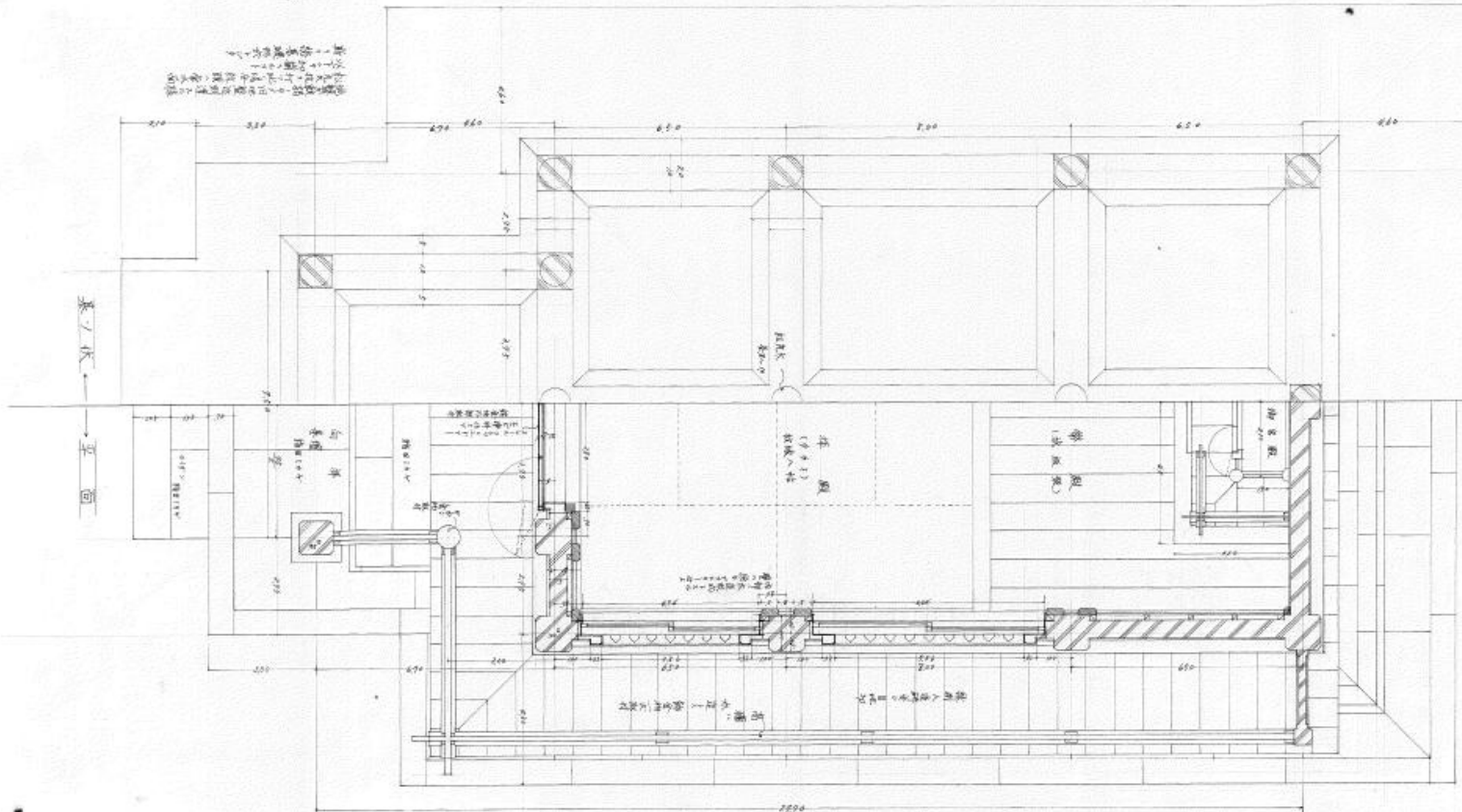
類尺石

正面圖・基礎伏

基礎設計変更は、依り構造図を参照し

本設計は、  
設計者により、  
設計内容に  
変更がある  
場合は、  
設計者より  
説明を受ける  
こととする。

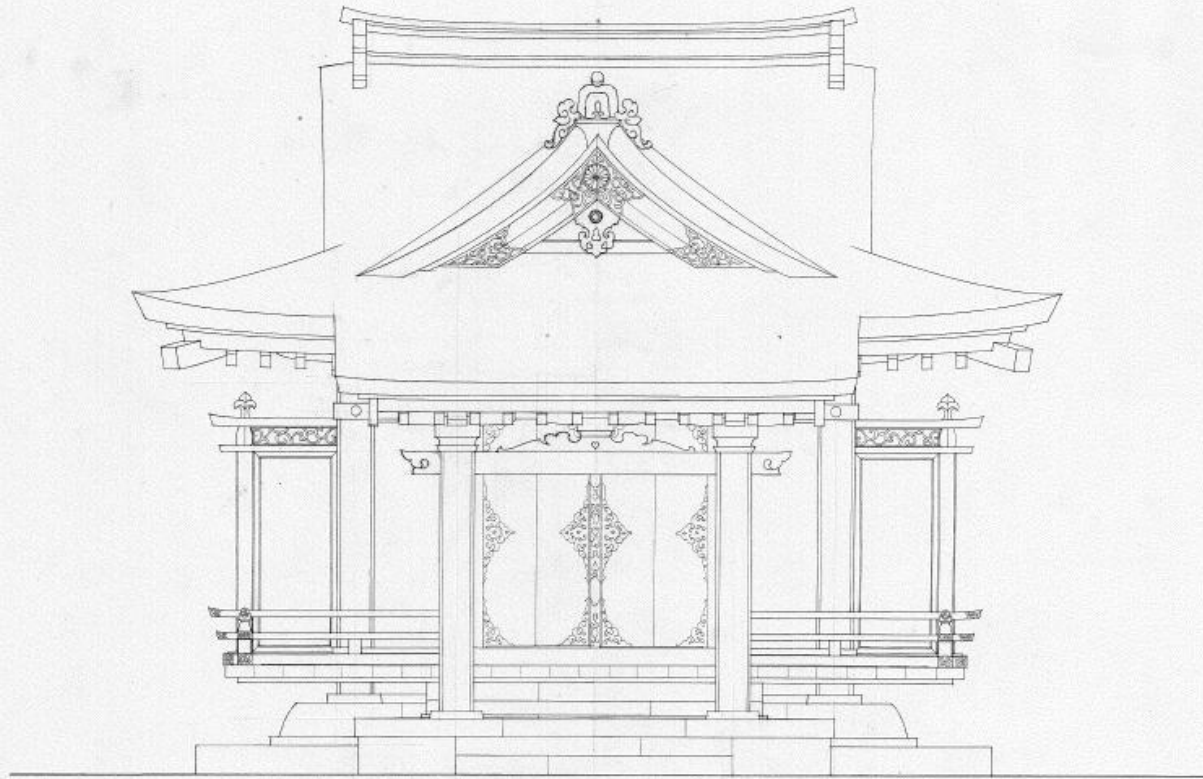
基礎伏  
正面



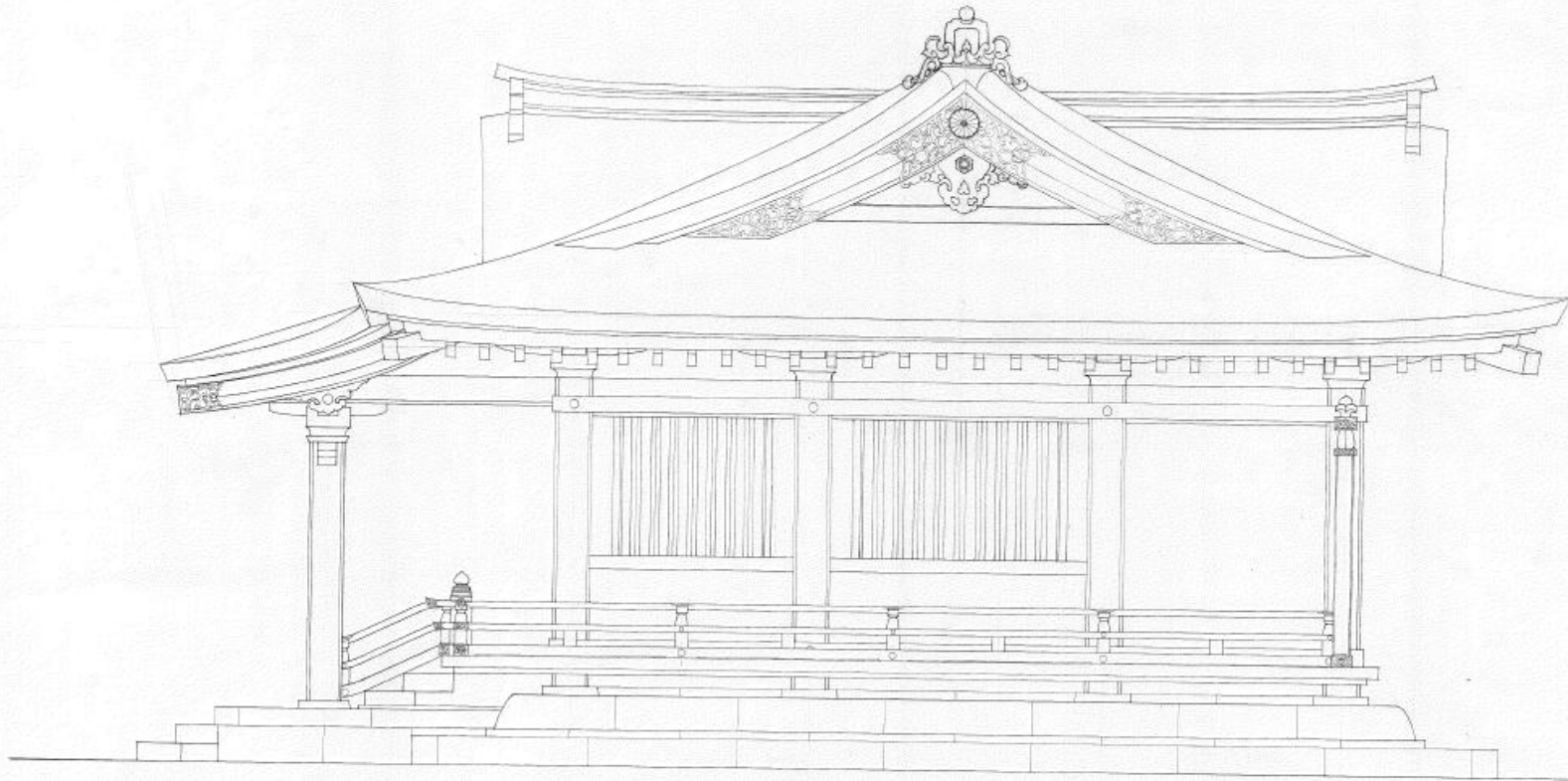


眞先稻荷神社正面図

縮尺



眞先稻荷神社側面四  
難尺 26.

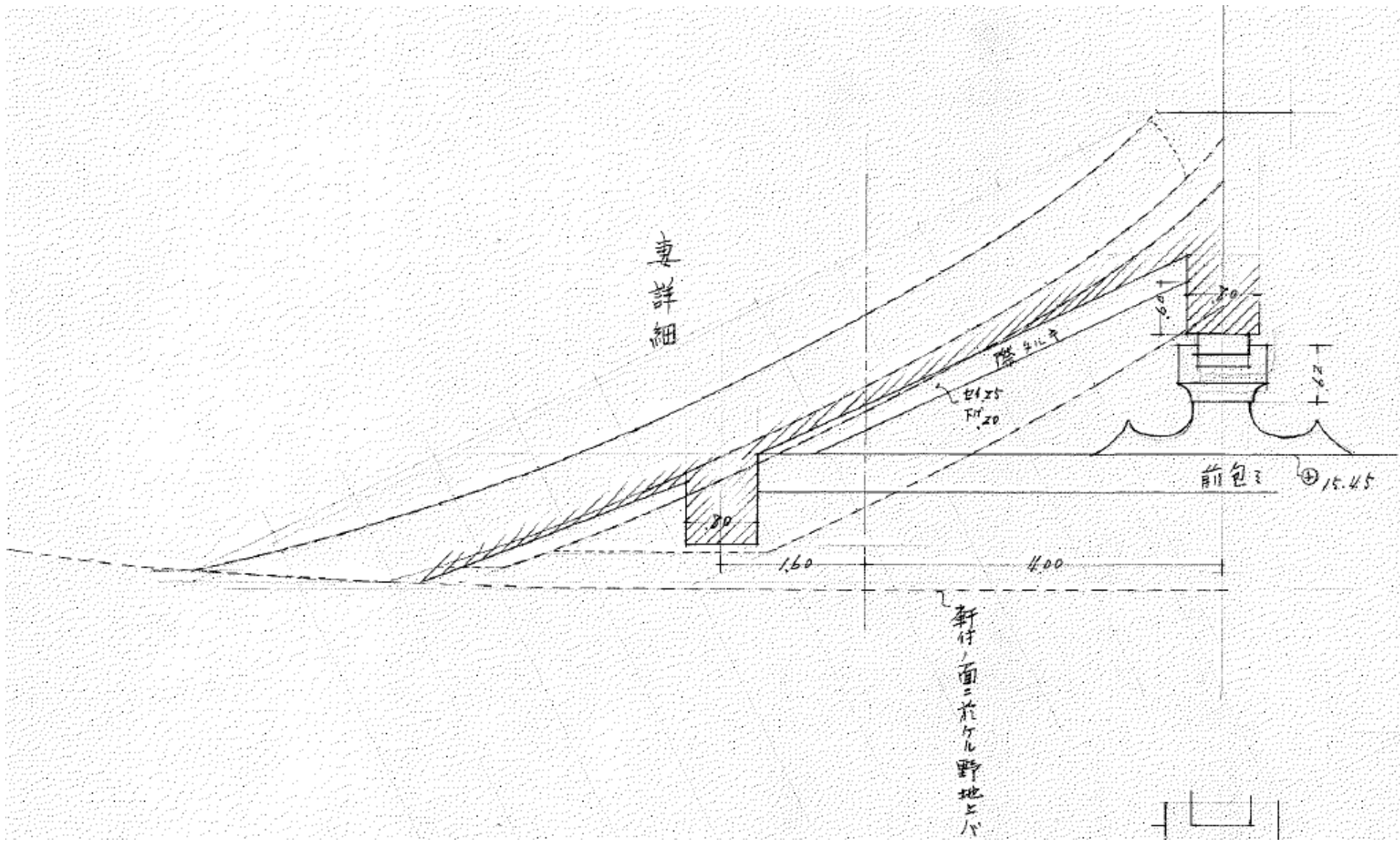








妻詳細



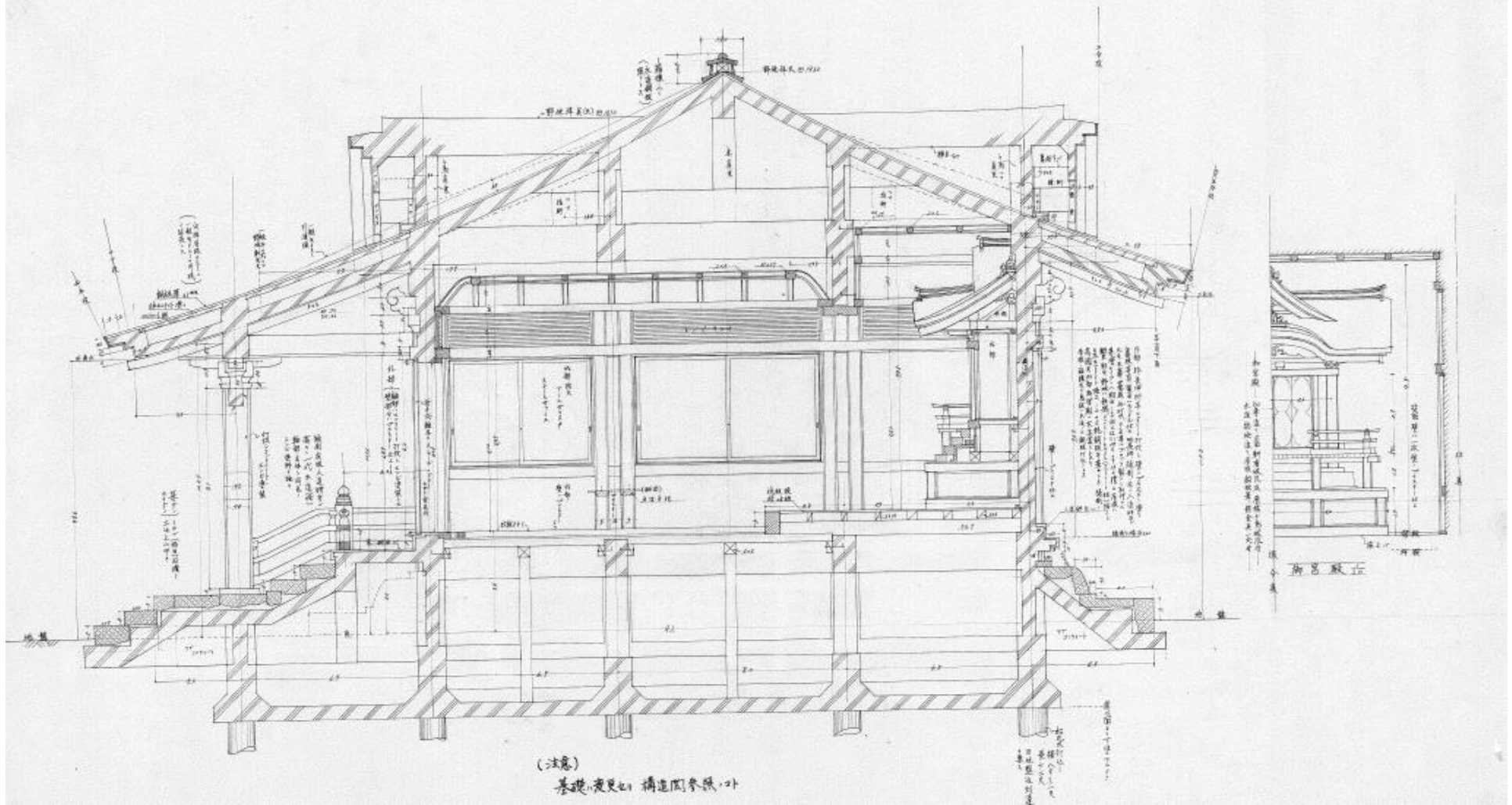
軒付ノ面ニ於ケル野地上ハ

前包 ① 15.45

真先稻荷神社設計圖

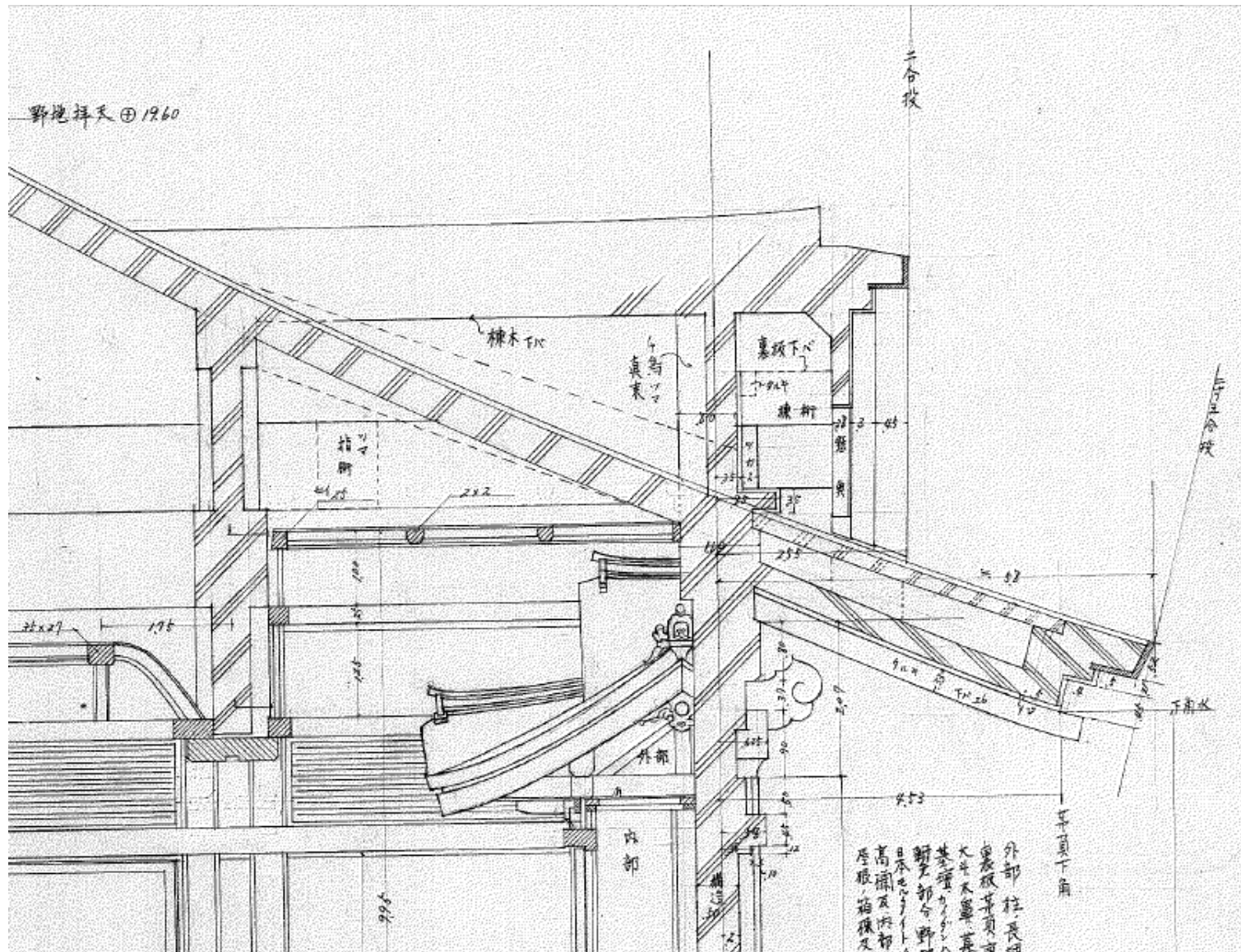
圖尺六

縱剖面・御宮殿

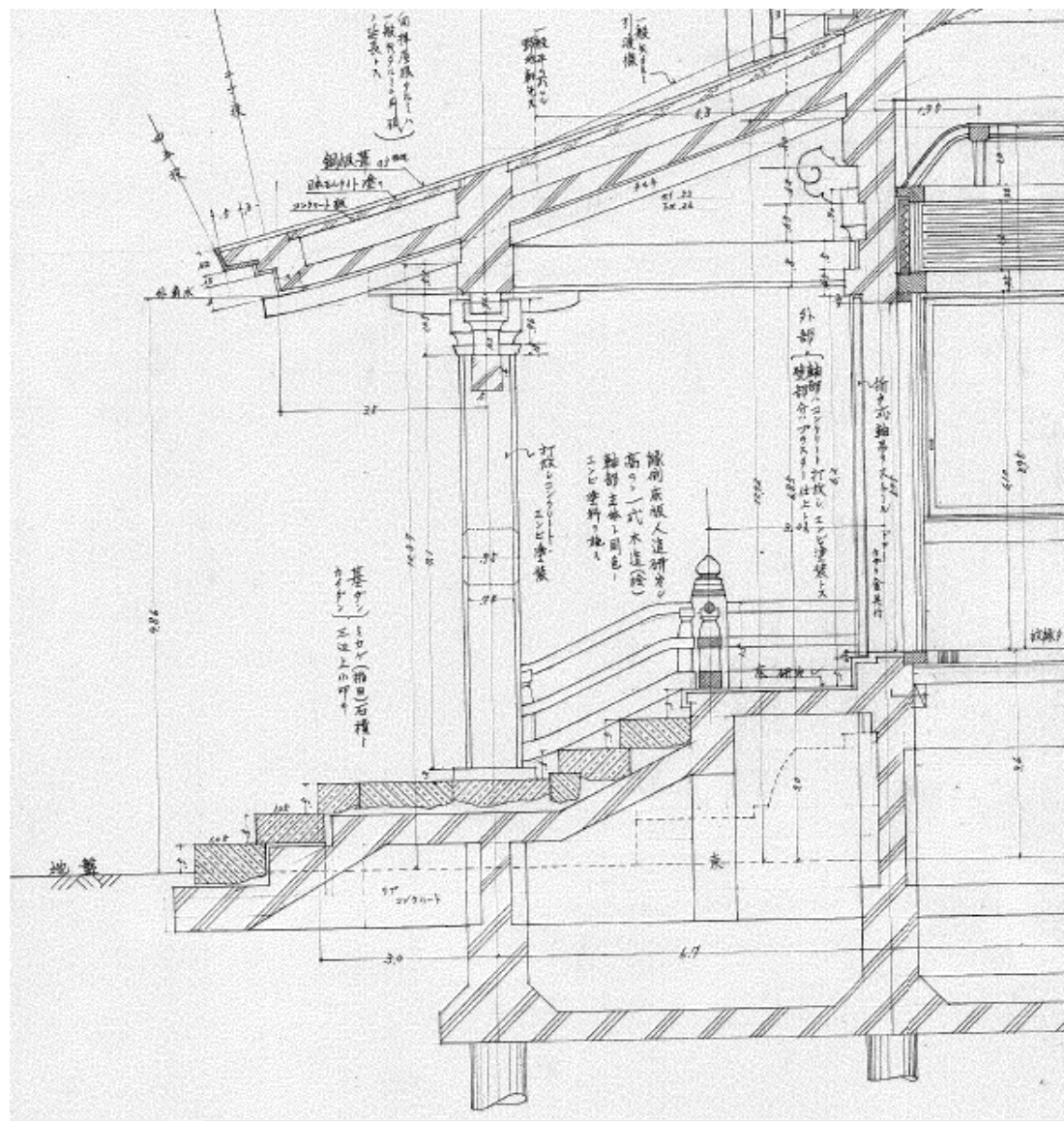
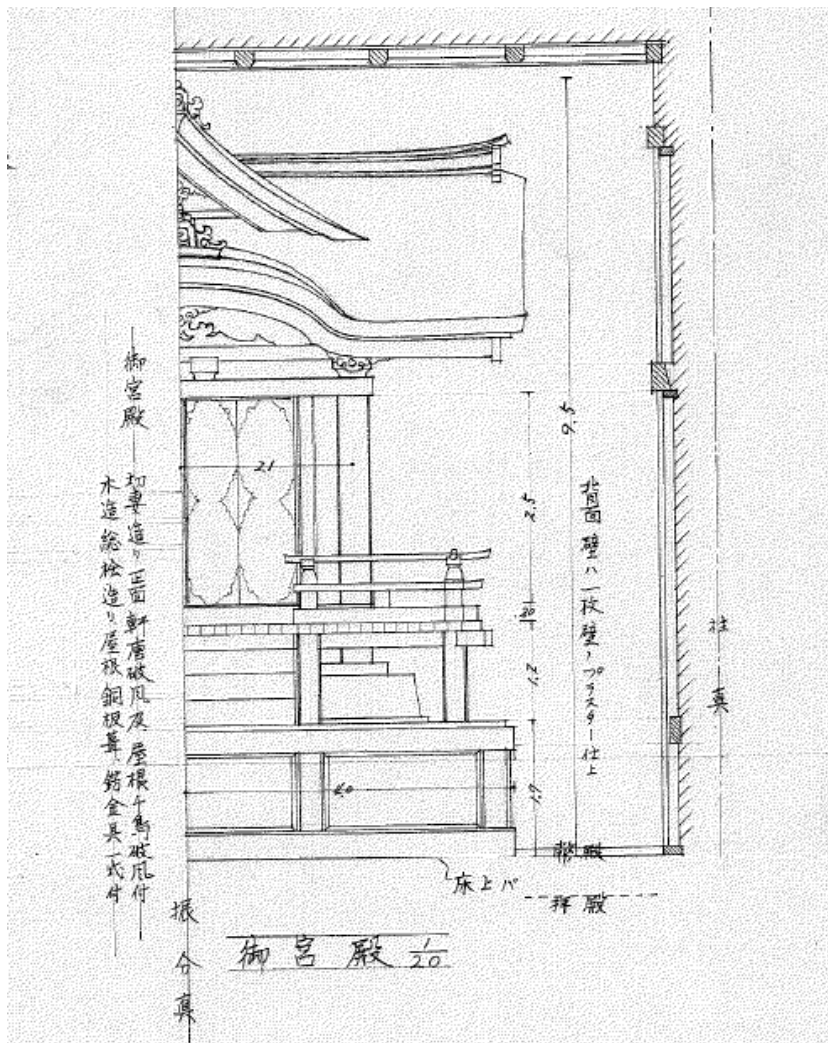




鄂地祥天 ④ 1960









年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和33.01	1961	石浜神社 稲荷社	東京都 荒川区	昭和33.01～33.12	松浦弘二	入江工務店	入江工務店	RC造

(意匠設計共)



インターネットより